

設計業務説明書等に関するご質問及び回答について

件名：東京国立近代美術館フィルムセンター相模原分館収蔵庫増築設計業務

No.	質問	回答
1	プロポーザル提案書提出前に現地を確認する機会（見学会）はありますか。 併せて既存建物内部の見学はできますか。 見学会がなくて、直接現地訪問での個別視察が可能であれば、ご連絡先を教えてください。	見学会は開催しません。 業務説明書「8. 技術提案書の作成及び記載上の留意事項」のとおり、プロポーザルを理由とした職員等に対するヒアリング、写真撮影が許されない場所での写真撮影及び通常の利用において立ち入ることが想定されない場所への立ち入り等を禁止しています。
2	相模原分館の見学は可能でしょうか。可能でしたら、日時、場所、留意事項等通知いただけますでしょうか。	No.1の回答のとおりです。
3	増築棟への動線の確保のために、既存棟の改修を行うと考えるよろしいでしょうか。	既存棟の改修が発生することを想定していますが、業務内容に関する設計と条件は、見積もり依頼の際の特記仕様書等によります。なお、既存等改修内容は、計画を進める上で検討し決定していくこととなります。
4	増築棟の建設により、既存棟に「延焼の恐れのある部分」が発生した場合、既存棟の改修を行うと考えるよろしいでしょうか。	No.3の回答のとおりです。
5	施設（計画）概要に「フィルム検査室他」とありますが、「他」はどのような部屋になりますか。お考えがあればご教授ください。	フィルム検査室、フィルムクリーニング室、フィルムならし室、フィルム缶収納室、技術資料（撮影機、映写機等）保管室、文献（図書、資料等）保管室、資料整理室、荷解室などを想定しています。
6	「フィルム検査室他：約1,200㎡」の内訳をご教授ください。	No.5の回答のとおりです。
7	計画建物に想定されている検査室等でフィルム検査室他とありますが、具体的な室名をご教授ください。	No.5の回答のとおりです。
8	施設（計画）概要に「設備室、その他」とありますが、「その他」はどのような部屋になりますか。お考えがあればご教授ください。	受変電室、自家発電室、空調機械室、消火用ポンプ室、エレベータ及びエレベータ機械室、階段室、廊下、風除室、前室、更衣室などを想定しています。
9	「設備室その他：約1,200㎡」の内訳をご教授ください。	No.8の回答のとおりです。
10	計画建物に常駐で人が滞在している部屋（建築基準法上「居室」に該当する）部屋はありますか。	フィルム検査室、フィルムクリーニング室、資料整理室、荷解室などを想定しています。

No.	質問	回答
11	計画建物に職員の方以外に一般の方（見学者等）が入る機会がありますか。（ある場合、頻度はどのくらいありますか。）	一般の見学者は、月1回程度あると想定されます。
12	施設の一般公開について、お考えをご教授ください	計画建物では、年1回程度の一般公開を行う計画です。
13	増築検討エリアの記載がありますが、計画建物までの車の動線（ルート）はどのように想定されていますか。	今後計画を進める上で検討することとしています。
14	収蔵物の搬出入車両の大きさをご教授ください。	4トントラック箱車パワーリフト付を主に使用しており、年式により車体寸法は幾つかありますが、最大なもので、長さ8910mm×幅2320mm×高さ3620mmとなります。
15	設備インフラ関係の引込ルート及び敷地内ルートはどのようになっていますか。 また増築検討エリアを含めて、敷地内に埋設物（共同溝等）はありませんか。 計画建物付近に、電力、水道、排水、ガス等インフラ設備が整っていることでよろしいですか。	インフラ関係の引込図があります。特定・契約後に貸与又は閲覧が可能です。 敷地内埋設物は、増築エリアに雨水浸透枳が埋設されています。 現在の施設は、電力、上水道、下水道が引き込まれています。なお、ガスを使用する設備はありません。
16	既存建物の図面（鮮明な図面）は貸与または閲覧（必要箇所のコピー）は可能ですか。 既存建物の電気・機械設備面について貸与または閲覧（必要箇所のコピー）は可能ですか。	特定・契約後に貸与又は閲覧が可能です。
17	敷地調査報告書に 印はありませんが、現況測量図、高低測量図、既存樹木図、敷地内設備インフラ図はありますか。 ある場合は貸与または閲覧（必要箇所のコピー）は可能ですか。	高低測量図、既存樹木図はあります。特定・契約後に貸与又は閲覧が可能です。
18	敷地内または既存建物のボーリングデータ、地下水位、支持地盤のわかる資料、地質調査報告書はありますか。 ある場合は貸与または閲覧（必要箇所のコピー）は可能ですか。	柱状図、地盤調査報告書はあります。特定・契約後に貸与又は閲覧が可能です。
19	追加業務に「計画通知関係図書」「各種申請図書」「防災計画図書」の成果物の記載があり、「平成22年1月29日」に提出とありますが、各種申請及び計画通知申請手続きは、「平成22年1月29日」以降と考えてよろしいですか。	よろしいです。

No.	質問	回答
20	上記の質問にも関係しますが、履行期間の「平成 22 年 3 月 30 日」までには、計画通知申請手続き業務完了についても含まれていますか。	当初契約条件では履行期間に含まれますが、契約締結後に提出いただく業務工程表により、履行期限に終了しないと判断される場合は、協議することとします。
21	「防災計画評定又は防災性能評定に関する資料の作成及び申請手続き業務」に印がありますが、履行期間の「平成 22 年 3 月 30 日」までには、申請手続き業務完了についても含まれていますか。 (履行期間内の完了は非常に難しいことが想定されます。) また評価手数料は別途と考えてよろしいですか。	No.20 の回答と同様です。 なお、評価手数料は別途とします。
22	履行期間は「平成 22 年 3 月 30 日」とありますが、設計業務委託特記仕様書 P.2 に建設工期(予定工期)は「平成 22 年度 10 月～平成 23 年度 3 月の記載があり、約 6 ヶ月となっています。建設工期が短いと思われませんが、「平成 22 年 10 月」より前に着工は可能ですか。ご教授ください。	着工時期及び工期は、今後の調整となります。
23	受変電設備のトランス容量についての状況をご教授ください。 また既存施設の電力契約内容及び需要量をご教授ください。	受変電設備容量は 6 5 0 KVA(動力 3 0 0 KVA×2 台、電灯 5 0 KVA)となります。 電力契約内容は、業務用季節別時間帯別電力 2 型となっております。
24	増築工事の際、特に留意することがありましたらご教授ください。	技術提案を求める内容に関連する可能性があると思われるため、回答できません。